

2024 年 4 月 1 日

2023 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 R.I.La

代表者・役職名 氏名 理事長 尾崎美佐子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

狭山丘陵並びの周辺の里山とそこに生息する野生動物、花蜂の保全事業

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

この法人は、主に東京都及び周辺の地域に対して、環境の保全を図る目的における環境調査の実施と環境に関する教育事業を行い、生物多様性の保全を確保出来る環境を作ると共に、子供達の育成、まちづくりに関わること、並びに地域社会のコミュニティに関わる様々な事柄に携わることによって、環境に配慮し、その地域に生息する様々な生き物たちと共存できる持続可能なまちづくりに寄与することを目的として設立されました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

この活動は、狭山丘陵並びにその周辺の里山における生息する野生動物の保護・観察活動、日本ミツバチの保全活動、ナラ枯れの調査など環境保全事業を行います。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

里山の環境保護活動として、次の活動を実施致します。

1、里山で生活する野生動物達の保護・観察活動としての里山内の整備活動とトレイルカメラによる野生動物の観察活動。この活動は、埼玉県で活動する環境 NPO である NPO 法人 R.I.La の指導を受け、実施致します。具体的には、現在稼働しているトレイルカメラの数を現在の3台から6台に倍増し、撮影された動物達の様子は、YouTube にアップして広く開示して行きます。

NPO 法人奥武蔵ピースラボと NPO 法人 R.I.La が協働で運営する Youtube チャンネル

「身近な動物達と里山の夜 <https://www.youtube.com/@user-by3oh3cy3w>」

2、日本ミツバチの巣箱を作成し、多摩エリアの里山で活動している環境団体、個人に貸与致します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

・今回のプロジェクトにより、狭山丘陵での里山の変化(ナラ枯れによる樹木の伐採など)によって生じる野生動物の活動場所の変化、里山自体の変容などを具体的に観察、調査することができた。特に野生動物の活動の変化については、里山でのエサ不足に伴う麓の畑や民家に餌を求めて移動する動物の状況などがトレイルカメラでも確認でき、今後の里山における管理の在り方について、考え方を改める必要性を示唆する状況となった。

・貸与した日本ミツバチの巣箱に営巣したことによって、よりポリネーターとしての花蜂の存在の貴重さを確認できたと共に、周辺の子供たちにもミツバチの活動を直接観察する貴重な機会を提供することができた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後の里山の管理について、例えばナラ枯れによるコナラ、クヌギ、ブナなどの樹木の処理についても、従来のように寄生虫の入った樹木をただ伐採していただくの方法ではなく、森全体の免疫力を高め、樹木単体においてもカシナガ虫の寄生に耐えうる環境を整備していくことによって、樹木を伐採することなく保全するスキームを構築していく必要があるという課題を得た。2024年度より当該プロジェクトを展開していく所存である。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



